



きたそらち

2026
7月号
No.304

～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



6月7日に北竜ひまわりすいかの初出荷が行われました！
写真は、初出荷を行った高田秋光組合長と杉本克裕さんです♪
→記事の詳細は2ページ

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/
Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を
発信中です！ぜひ、ご覧ください！

QRコードとSNSアイコン:

- ホームページ
- YouTube
- Facebook
- Instagram

JA_HITASORACHI

～ 今月のヘッドライン ～

- 旬の青果物が続々と出荷スタート! …… 2～3
- 深川市の小学生たちが田植え体験学習! …… 4
- 新宿高島屋 ふかがわまいPR …… 8
- あみていえ第1講開催 …… 9
- 北ブロック青年部 第50回球技大会 …… 12

旬の青果物が続々と出荷スタート!

6月8日、ラグビーボール形が特徴の小玉すいか「マダーボール」の出荷が雨竜野菜集出荷施設で始まった。

きたそらちマダーボール生産組合（佐々木健一組合長、4戸）の高田芳敬さんが計10ケース（3玉から4玉入り）を出荷した。

今年は、順調に作業が進み昨年 비해4日早い出荷となった。糖度は12度と出荷基準を満たしたものが持ち込まれた。



元気村 マダーボール



高田さんの長男敬大さんは「気温が低い日が続く定植のばらつきがあったが、寒暖差の影響で糖度が高くなった。今年も気温が暑くなるといくと聞くため、熱中症にならないよう気を付けて作業をしていきたいと思う」と笑顔で話す。また佐々木組合長も「暑い時の水分補給として、消費者の皆さまには積極的に食べてもらいたい」と話した。

翌9日は、札幌みらい中央青果株式会社（札幌）での初せりにより取引された。「マダーボール」は、同生産組合が50aで栽培。出荷は10月上旬まで続き、7月中・下旬にピークを迎える。今年には2,500ケースの出荷、約910万円の売上げを見込む。

【営農企画課 戸島】

6月7日、北竜町特産の果肉が黄色い「ひまわりすいか」が初出荷された。この日は、ひまわりすいか組合の（株）高田、杉本克裕さん、佐藤孝介さんの3戸が2玉から6玉入り計53ケースを出荷した。今年も雪解けが早く、定植作業も順調に進んだほか、その後も気温や日照に恵まれたことから、昨年より4日早い出荷となった。



北竜 ひまわりすいか



高田秋光組合長は「今年も無事に初出荷を迎えられた。今後は現在受け入れている3名の研修生に営農技術の指導や、全体の作付面積を維持・拡大をしながら活動を続けていきたい」と話す。

出荷は数回に分けて行われ、一回目のピークは6月中旬で9月上旬まで出荷が続く。今年も、約1万8800万ケースを出荷し、約7,850万円の売上げを見込む。

【営農企画課 戸島】

青果部の野菜集出荷施設では、続々と旬の野菜・果物の出荷が始まっている。今年はこの2〜3年に比べて春先の天候が悪く、低温傾向が続いたことから全体的に青果物の生育は遅れていたものの、生産者の日々のたゆまぬ管理の賜物で、高品質な青果物が次々と出荷となった。

【青果課 北町】

きゅうり



↑出荷されたきゅうり

5月27日より、きゅうりの出荷が始まった。この日は、きたそらち胡瓜生産組合（川村正人組合長）の佐藤ジエンマさん（音江地区）古賀浩平さん（一巳地区）から合計23ケース、約115kgのきゅうりが出荷された。本年は4月27日から定植が始

まり、昨年より2日遅い出荷開始となった。

同生産組合では今年度約9haの作付を見込み、総重量1,440トン、金額にして約5億円のきゅうりを札幌・名古屋の市場を中心に出荷する。また、5月28日からは共選作業もスタートし、ピーク時には11トン/日のきゅうりが箱詰めされている。

グリーンピーマン

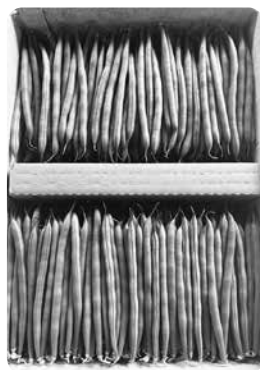
6月7日より、グリーンピーマンの出荷が始まった。この日は、きたそらちピーマン生産組合（折野哲也組合長）の（株）三谷農園（音江地区）より袋詰め4ケース、バラ詰め14ケースの計28ケースが出荷された。昨年より1日早い初出荷となった。



↑出荷されたグリーンピーマン

当産地のピーマンは「ピクシー」という品種で、果肉はやや厚めで炒めても食感が良く、他のピーマンに比べ苦味成分（ワエルシトリン）が少なく子供にも食べやすい品種となっている。札幌・旭川・滝川の市場へ向けて10月下旬まで出荷が続く。

さやいんげん（ピテナ）



↑出荷されたさやいんげん

6月5日より、さやいんげん（ピテナ）の出荷が始まった。この日は、きたそらち野菜生産組合（松田力組合長）の岡村美希さん（雨竜地区）より、1ケースが出荷された。昨年より3日早い出荷となった。いんげんは特に関西の市場で高値取引されており、京都や大阪の高級料亭ではあしらいとして料理に彩を添える食材として重宝されている。

今年が生産者18戸（深川・雨竜・北竜）が作付けし、徐々に出荷戸数も増え、9月頃に出荷のピークを迎える見通し。

夏秋苺

5月25日より、夏秋苺（すずあかね）の出荷が始まった。昨年に比べ1日早い出荷となった。この日は、きたそらち苺生産組合の尾寄雅一組合長（メム地区）が、約24パックを出荷した。夏秋苺のすずあかねはさわやかな酸味が特徴で、主にケーキなどの加工用のいちごととして出荷販売される。

今年が生産者3戸（深川・北竜）が作付けする。徐々に出荷数量が増え、主に旭川市場へ向けて11月まで出荷が続く。



↑出荷された夏秋苺



5月18日一已小学校(農業センター)



5月19日音江小学校(農業センター)



5月19日深川小学校(農業センター)



5月21日北新小学校(松本孝一氏圃場)



5月25日多度志小学校(川端健太氏圃場)



5月27日納内小学校(株岡田ファーム圃場)



子ども達の田植え体験記



深川市内小学生 田植え体験！

5月下旬、深川市内小学校5校による田植え体験学習が今年も行われた。同市では地域に根ざした特色ある教育の一環として、小学生を対象に水稲の農業体験学習に取り組んでいる。

子ども達は、市職員や組合員、JA青年部などの協力を得ながら、組合員宅、深川市農業センターの圃場で田植えを体験した。終了後「楽しかった!」「難しかった!」など、それぞれ田植え体験の感想を元氣よく語った。

この後水稲の生育について学び、秋には収穫体験を行う予定。

【営農企画課 戸島】



バケツ稲で食育学習



音江中央保育園（篠原いずみ園長）の園児6人と北光保育園（浅利法子園長）の園児12人を対象にバケツ稲を活用した食育活動が行われた。

園児たちは、長野靖一已地区代表理事から提供を受けた「ふっくりんこ」の苗を使い土と水を混ぜ合わせる「代掻き」を体験した後、丁寧に苗を植え付けた。



当日は好天に恵まれ、園児たちは「土を混ぜるのが楽しい」「早くお米が食べたい」など元気な声を上げていた。また、JA職員から「お米づくりには水と太陽が大切」と説明を受け、稲の生育に必要な環境について学んだ。今後は園児たちが水やりなどを行いながら成長を見守り、稲刈りや脱穀、実食まで体験する予定で、食や農業への関心を深める機会となっている。

【営農企画課 高桑】

雨竜田んぼアート 田植え作業を実施

青年部雨竜支部は「雨竜田んぼアート」の田植え作業を行った。今年で18回目となるこの取り組みは、毎年同町立雨竜小学校の6年生がアートのデザインを考案しており、今年の干支である馬のデザインに決まった。

この日は、部員16人や同町職員、普及センター職員、JA職員などが手作業で田植えを行い、指示役の部員に植える場所を確認しながら、緑の「ななつぼし」と黄、白、赤の計4色の苗を一列ずつ植えた。



また、デザインを考案した児童12人も目印を頼りに部員と協力しながら一つひとつ苗を植えた。半日かけて10aの水田に約1万4000株の苗を植えて絵を完成させた。

同支部の藤田涼太郎支部長は「子どもたちが慣れた手つきで田植え作業を進めたため、スムーズに作業を終えることができた。月末には、うりゅう米の販売促進活動もあるため、長年続けている活動を絶やさず取り組んでいきたい」と話す。圃場横には全体を見下ろせるやぐらが設置されており、7月中旬から見頃を迎える。

【営農企画課 戸島】

きたそらちレポート

5/26

(株)ローソン北海道支社 田植え体験会

深川支所一戸地区で、(株)ローソン北海道支社の田植え体験会が開かれた。

道内「まちかど厨房」にて「ふっくりんこ」を取り扱うローソンの社員が実際の生産現場に触れて農作業を体験することで、商品の魅力を発見し、ご飯を軸とした販売促進につなげることを目的に実施。33人のローソン社員や店舗オーナーが参加した。



田植えの前段では、ホクレン岩見沢支所の職員による「北海道米について」の講習を受け、その後、ふかがわまい生産組合の伊藤裕美組合長の圃場で田植え体験を行った。参加者は「農業は力仕事だけと思っていたが、今回田植え体験をして楽しいと感じ、新たな発見を得ることができた」と答えた。

【営農企画課 戸島】

4/16

「北竜町ひまわりロード」 播種作業を実施

北竜町の国道275号沿いで「ひまわりロード」の播種作業が行われた。

6月に入ってから降雨の影響により、例年に比べ約1週間遅れての実施となったが、道の駅「サンフラワ―北竜」から北側にかけて、約1.5kmの間、総面積347aに及びる範囲にひまわりの種が播かれた。



今後、順調に生育が進めば、見頃は例年通り7月下旬から8月上旬頃になる見込み。北竜町の夏を象徴するひまわりが黄色く咲き誇る様子は、国道275号を通る人々の目に留まるほど鮮やかな景色となる。今年の夏もドライブの道中や観光の際にぜひ「ひまわりロード」をご覧ください。

【北竜支所 河端】

食と農を学ぶ サツマイモ栽培スタート

一巳中学校3年生(58人)が総合的な学習の時間を活用し、農業や食への理解を深めることを目的に、サツマイモの定植作業を体験した。

当日は晴天に恵まれ、JAきたそらち青果部職員の指導のもと、畝づくりからマルチ張り、苗の定植までを行った。スコップで土を掘るといふ慣れない作業に苦労する様子も見られたが、仲間と協力しながら熱心に作業を進めた。



生徒からは「土が硬くて掘る作業が大変だった」「暑くて大変だったが収穫が楽しみ」といった声が聞かれ、農業の苦労や食べ物の大切さについて学ぶ機会となった。

今後は除草作業などの管理を行いながら生育を見守り、秋には収穫を予定している。さらには、サツマイモを使った調理体験も実施し栽培から収穫、消費までの過程を学ぶ。

JAきたそらちは食農教育活動を通じて、地域の子供たちの農業への理解促進と食への関心向上に取り組んでいく。

【営農企画課 高桑】

きたそらち胡瓜生産組合

第4回キュウリ贈呈式

きたそらち胡瓜生産組合は、北空知圏学校給食組合(組合長・田中昌幸深川市長)へ深川産キュウリを贈呈した。

この贈呈は令和5年に始まり、今年で4回目となる。同生産組合の川村正人組合長は「暑い夏が来るため、身体の水分やナトリウムのバランスを整えるカリウムが豊富なキュウリを給食や自宅でも食べて欲しい」と話した。



田中市長は、「4年続けての贈呈、誠にありがとうございます。今年も子ども達に美味しいキュウリを食べてもらえることができ、誠にありがたいと思っています」と述べ、川村組合長へ感謝状を手渡した。

今年は、期間を増やし7月には100kg、8月と9月には合計約250kgと計350kgを提供し、北空知管内の小中学校15校の学校給食の食材として使用される予定。

【営農企画課 戸島】

新宿高島屋 初夏の北海道物産展にて ふかがわまいPR

深川市商工労働観光課と当J Aは、新宿高島屋（東京都）の北海道物産展で、ふかがわまいのPRとふるさと納税のキャンペーンを行った。

5月22日から25日の4日間で行われたこのイベントは、「ななつぼし」「ふつくりんご」のすくい取りを実施した。また、深川市ふるさと納税公式LINEに登録された方にゆめぴりか300gのプレゼントを行った。
結果、すくい取りで275回行われた。



なお、同会場で4月に行われた（一社）新宿観光振興協会が主催する「ご飯がとまらない！伝統のおとも特集」にも出店しており、2カ月間で、多くの方にふかがわまいの魅力を知っていただく貴重な機会となった。

【深川支所 吉田】



こだわりカレー 産地交流会開催

全農パールライス（株）が、生産者に日頃の感謝を伝えるとともに、現場の声を直接伺うことを目的として、こだわりカレー産地交流会が当J A本所で開催された。

今回の交流会では、ホクレン、（株）メイワックス、（株）サタケの担当者および当J A職員の計17名が集まり、約300食分のカレー用の野菜や肉を調理した。出来上がったカレーは、当J A本所の会議室で約200人へ無料配布されたほか、トッピングとしてから揚げ、コロッケ、えびフライ、トンカツも用意された。



参加した水稻生産者や青年部員らは、大盛りにしたり、えびフライカレーにしたりと、思い思いの食べ方でカレーを味わっていた。

参加した人々からは「トッピングもあり、とても豪華でおいしかった」との声があり、おかわりに訪れた参加者に対して、全農パールライスの社員は「おかわりありがとうございます！いっぱい食べてくれてうれしいです」と喜びを表していた。

【営農企画課 坪】

夏の作業に向けた
資材展示即売会開催

春資材・農機展示即売会が本所資材センター前で開催された。会場には、散布機や刈払機などがおかれ、来場した組合員は全体的に展示を見て回っている様子が伺えた。

特に、草刈機の種類が豊富にあり、バッテリー式と燃料式の二種類が展示され、ボタン一つで刈り取りできるバッテリー式は、燃料式に比べメンテナンスがしやすく、女性でも使いやすいとメーカー職員は語った。

【営農企画課 戸島】

JAきたそらち女性大学
カレッジあみていえ6期生
第1講「日帰り研修・施設見学と『夢の農村塾』生産者訪問」開催

6月15日、JAきたそらち女性大学カレッジあみていえ6期生の第1講が開催され、16人が出席した。

午前中は、初めに北空知広域連花きセンターで花きの出荷の様子を見学した。積み上がった段ボールに貼られた用紙に出荷先が印字されており、北空知の花のうち93・5%が道外（主に関東、関西）へ出荷されている。実際に箱詰めされたダリアやヒマワリを見ると感動の声を上げた。

次に青果部選果場でアスパラ選果やきゅうりの選果の様子を見学した。きゅうりは機械でサイズを仕分けした後は手作業で箱に詰められていた。きゅうりの選別や箱作りには外国人派遣労働者や農福連携による福祉施設利用者の力を借りており、テキパキと作業をしていた。また、今回はJAが選別・箱詰を行う共選を見学したが、青果部施設課が運営

する道の駅直売所ecirでは生産者が選別・箱詰を行う個選品目が並んでおり、旬菜部が自ら陳列も行うことも説明を受け、参加者は「深川の直売所の野菜を生産者が並べているのは知らなかった」と驚いた。

午後からは「元氣村・夢の農村塾」会員である、一巳地区の（株）GT（代表取締役 神尾誠氏）で同会が行っている活動内容や過去に受け入れてきた学生たちの農業体験の様子を聞いた。最後に、神尾氏のビニールハウスでスターチスシヌアータの収穫体験を行った。参加者たちは手作業での収穫に、花き生産者の大変さを学び、「貴重な農業体験を通して道外の学生たちが農業の素晴らしさを感じる機会となる『夢の農村塾』の活動を知ることが出来てよかった」と話す。

【営農企画課 石野】



令和8年度「北育ち元気塾」 第3回研修会 開催

6月11日、令和8年度「北育ち元気塾」の第3回研修会が拓殖大学北海道短期大学で開催され、塾生19人が出席した。同校非常勤講師である堀田治邦氏を講師に迎え、「病害虫の基礎知識」と題した講義が行われた。

講義では、堀田氏が研究の中で撮影した病害症状や原因となる害虫の写真を見ることができ、その害虫たちを防除するために必要な方法として、発生しにくい環境づくりを行う「耕種的防除」、防虫ネットなどの「物理的防除」、害虫の天敵を導入する「生物的防除」、農薬を使用する「化学的防除」といった大きく分けて四つの防除法を学んだ。



出席した塾生は「防除で使用する農薬の種類について詳しく聞くことができた。水溶剤や粒剤などメジャーなものだけでなく、テープ剤や家庭菜園用のエアゾルなど、初めて知る農薬も写真付きで見られて勉強になった」と話した。

【営農企画課 石野】

令和7年度 農業者年金基金 理事長賞受賞

令和7年度の農業者年金加入推進活動に対し、令和7年度農業者年金基金理事長賞を受賞した。

新規加入者部門【全国8位】青年層（20歳～39歳）【全国5位】

農業者年金基金理事長賞は農業者年金の加入促進活動に積極的に取り組み、加入者数上位の団体に表彰される。

今後とも農業者の老後生活の安定に寄与するために農業者向けの公的年金である農業者年金の普及推進に取り組んでいく。

【融資課 一戸】



雨電支所年金友の会 第27回定期総会開催

雨電支所年金友の会（吉見 正弘会長）が定期総会を開催した。

開会にあたり吉見会長は「会員数が減少傾向の中、昨年も行事を行うことができ、感謝申し上げる。本年も温泉湯治等、企画をしているので、たくさんの方の参加をお願いしたい」と挨拶。議案承認後の宴ではビンゴ大会が行われ、盛り上がりを見せた。

なお、役員改選も行われ、左記の通りとなった。

会長 吉見 正弘
副会長 山岸 隆典（新任）
理事 瀬川 正義
伊藤 憲彰
監事 清水 由雄
菅井 清茂

【金融共済雨電支所 小野寺】



4/20~5/1

令和8年度ホクレン職員 農協実習を実施

4月20日から5月1日、ホクレン農業協同組合連合会の新採用職員 島大翔さん、藤垣柊平さん、野村菜々子さんの3人が農協実習を行った。
実習内容は、ホクレン事業と関わる部署での作業、深川支所育苗巡回への同行のほか農家実習として一己地区の松田直人理事宅において牛舎内の清掃、給餌作業などを行った。



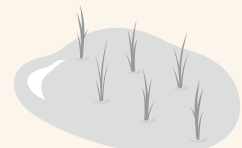
実習を終えた感想として「生産者、JA職員・ホクレンの関わり方の理解を深めることができたので今後に活かしたい」「実習を通して地域に密着しながら組合員の方々に支えているJAの役割の大きさを実感した」「生産者との関わり方や信頼関係を築く様子を見て、知識だけではなく相手に寄り添う姿勢を心掛けた」と語った。
この実習での経験を活かし、今後は道内外で活躍されることを期待している。

【人事課 墓田】

5/27~6/3

幌加内支所令和8年度 農産物出荷契約を行う

幌加内支所では5月27日から6月3日の6日間に渡り、担当職員が地区別で生産者の元へ訪問し、出荷契約の手続きを行った。職員が直接ほ場やご自宅を訪問することで、本年度の作付状況や生育状況などといった情報を共有しながらも、生産者一人ひとりの思いや課題についても触れ、出荷数量や品質向上に向けた取り組みについて確認した。



幌加内地区生産者のみなさまからは「訪問してくれることでアットホームな環境で栽培状況や資材関係について気軽に相談することができた」といった声を頂けた。幌加内支所では今後も生産者のみなさまとの対話を大切に、顔の見える関係づくりを構築していく。

【幌加内支所 宮田】

JA空知青年部連合会北ブロック

第50回球技大会



6/19

ソフトボール大会で
雨竜支部が栄冠！

JA空知青年部連合会北ブロックは深川市石狩緑地球場で、第50回目となる球技大会を開催した。JAきたそらち青年部、JA北いぶき青年部、JA職員ら154名が参加し、8チーム対抗のソフトボール大会が行われた。

決勝戦は、雨竜支部と、昨年準優勝した沼田支部の対戦となった。序盤から白熱した試合となったが、中盤に大量得点を挙げた雨竜支部が5対1で勝利し見事優勝を果たす結果となった。

大会後には懇親会も開かれ、各支部の参加者同士が親睦を深めた。また、今回で50回目の開催を迎えたことを記念し、アームレスリング大会も実施され、深川支部Bチームが優勝を飾り、会場は大いに盛り上がりを見せた。

【営農企画課 坪】

令和9年度用 肥料・温材一斉推進のお知らせ

■令和9年度用肥料について、輸入原料価格は中東情勢の悪化、中国の輸出規制長期化により市況価格上昇、また為替（円安）による影響、ナフサ価格高騰による物流費・包装容器価格の上昇などを背景に、化学肥料について加重平均 **約24.7%の値上げ**となります。

■肥料コスト低減対策として、水稻・畑作での「**めぐりサイクル肥料**」（堆肥入りBB肥料）の提案、また **新規登録イエスクリーン対応有機入り肥料**の推進をして参りますので宜しくお願い致します!!

▲令和9年度用温床資材についても、**中東情勢の悪化に伴う原材料供給の不安定化**により、令和9年度の**当用期受注分は供給ができない可能性が非常に高まっております。**

▲資材確保のため、令和9年度に必要な温床資材（ハウスフィルム・シルバーポリなど）は、予約取りまとめ**8月31日までに必ずご注文（予約）**をお願い致します。

～ 堆肥入りBB肥料・イエスクリーン対応肥料のご紹介～

◎ **めぐりサイクル麦・そば007**（有機割合 **約15%**）

◎ **めぐりサイクル豆S310**（有機割合 **約10%**）

※化学肥料は輸入に依存しており、価格が国際情勢に左右されにくい国産堆肥を活用することで、肥料コスト低減・安定供給に貢献します。

◎ **水稻亜リン酸入り有機489**（有機態チッソ **2.5%**）

※有機態チッソが含まれていますので、イエスクリーン栽培にお勧めです。



肥料・温材推進期間：令和8年7月6日(月)～7月24日(金)

※**地区によって推進期間は異なります。**

新入職員のお知らせ (キャリア採用)

よろしくお願ひします!



令和8年5月18日付

金融共済部
北電支所

たかはし さらさ
高橋 更紗

知っておきたい得する経営情報

第24回

生産コストの把握と見える化

農業を取り巻く情勢が日々目まぐるしく変化する現代において、農業経営を安定的に継続していくためには、何よりもまず「利益を残していく」ことが不可欠です。

今回は、その利益をしっかりと手元に残すための具体的な第一歩として、「生産コストの把握と見える化」をテーマにお話したいと思います。

「生産コストの把握と見える化」の重要性

一般的に、手元に利益を残すためのアプローチとして真っ先に思い浮かぶのは、生産量を増やす、商品の単価を上げる、あるいは新しい販路を拡大するなど、いわゆる「売上」

そのものを上げることでしよう。しかしながら、これらの要素を今日明日

で劇的に改善し、結果に結びつけることには限界があります。天候不順による不作リスクや市場価格の変動など、自らの努力だけではコントロールしきれない外部環境の要素が多分に影響するからです。

そこで視点を変え、自らが経営努力によってコントロールする余地のある「生産コスト」を精緻に把握することが重要になります。特に近年は、肥料や農薬をはじめとするあらゆる生産コストが高騰しています。このように厳しい環境にある今だからこそ、自らの経営でかかっている数字を正

確に把握する（見える化する）ことで、確実に利益の残る原価構造へと改善していくことが求められています。

「生産コストの見える化」のメリット

生産コストを「見える化」することの最大のメリットは、「どの作物が、いくらで売れば利益が出るのか」という「損益分岐点（1kgあたりの生産原価）」が明確になることです。

これまでは、収穫した作物を出荷し、最終的に通帳に振り込まれた金額を見て初めて「今年の儲けはこのくらいだったのか」と実感していたケースも少なくなかったかもしれませぬ。

しかし、あらゆるコストが激変する現在の環境下においては、売上という「規模」を追うだけでなく、「手元に確実に残る利益」をいかに管理し確保するかという意識が重要となっています。

では、具体的にどのようにコストを把握すればよいのでしょうか。

まずは経費を「分ける」ことから始めよう

第一歩として、日々の農業生産にかかった経費を「直接費（変動費）」と「間接費（固定費）」の2つにしっかりと分類・整理することから始めましょう。

「直接費」とは

種苗代、肥料代、農薬代、出荷用の包装資材など、その作物を生産する量や

作付面積に応じて、直接的に増減する経費のことを指します。

・「間接費」とは

トラクターなどの機械の減価償却費、農地の地代、倉庫の光熱費、共済掛金など、作物の生産量に関わらず毎月あるいは毎年一定にかかる経費です。

このように経費の性質を見極めて分類を整理し、「どの経費にいくらかかっているのか」を日頃から意識するだけでも、手元はどうやって利益を残すかの大きな手掛かりになります。

そして、この経費を分ける作業を正確に行うためには、何よりも日々のこまめな帳簿付けが大切です。

生産コストを把握したその先

生産コストを把握した後は、この数字を「どのように実際の経営に活用していくのか」が最大の鍵となります。

数字を正確に把握できれば、ただむやみに支出を減らすのではない「メリハリのあるコスト削減」が可能となります。

客観的な数字に基づくことで、「この古い機械の更新は見送り、修繕で対応しよう」「高額な機械を一人で購入するのではなく、複数人での共同利用やJAの施設を有効活用しよう」といった、経営者としての的確な判断が下せるようになります。把握した数字は日々の資金繰りを安定させるためにも大いに役立ちます。

肥料や種苗といった資材の支払いが先行し、売上の入金が必要になることが多い農業では、利益が黒字でも手元資金がショートするリスクもあります。北海道のJAではクミカンという決済制度が普及しており、そのリスクは低く抑えられています。数字が把握できていれば、事前に対策を立てられ、借入の判断などにも役立ちます。

より良い農業経営のために

これまで「生産コストの把握と見える化」をテーマにお話ししてきましたが、今までタイムリーに帳簿をつけていなかった方や、日頃から数字に触れることに慣れていない方にとっては、少しハ

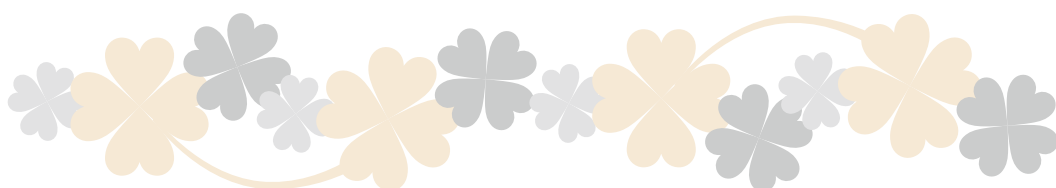
ードルが高く、難しいことのように感じられるかもしれません。また、コストの削減だけでは抜本的な解決にはならず、限界があると思われる方もいらっしゃるでしょう。ですが、自らの足元のコストを正確に把握することは、より良い、そして持続可能な農業経営を実現するための確実な第一歩です。



税理士法人
中央総合会計

「安心」が、私たちの商品です。

<http://www.csk-i.com>



金融共済部からのお知らせ

知って得する農業者年金

安心の
終身年金

農業者の方は、
国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」に加入し豊かな老後を！

ポイント

1

農業者なら誰でも入れる「終身年金」です！

- ①年間60日以上農業に従事し、国民年金第1号被保険者（保険料免除を除く。）である20歳以上60歳未満の方、又は60歳以上65歳未満の国民年金の任意加入者が加入できます。
- ②農業者年金は積立方式・確定拠出型で少子高齢化時代に強い。

死亡一時金もあり安心

80歳前に死亡した場合には、80歳までに受け取る農業者老齢年金の現在価値相当額を一時金として受け取れます。※加入期間等により保険料の払込額を下回る場合があります。

ポイント

2

一定の要件を満たす方には保険料の 国庫補助（月額最大1万円）があります。

認定農業者で青色申告の方や、その方と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者の方など、一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助（月額2万円の保険料のうち最高1万円、通算すると最大で216万円）があります。

この国庫補助は経営継承など一定の要件を満たせば将来特例付加年金として受給できます。また、経営継承の時期について年齢制限はなく、事情に応じて受給の時期を決められます。

ポイント

3

生涯を通じて税制面で大きな優遇措置があります。 保険料は全額社会保険料控除の対象

- 支払った保険料は家族も含めて全額が社会保険料控除の対象。
- 所得税・個人住民税・復興特別所得税が節税になります。
(支払保険料の15%~30%程度が節税。)
- 保険料の運用益が非課税 ●将来受け取る農業者年金には公的年金等控除は適用されます。
- 死亡一時金は非課税です。

事務経費は国が負担しているため、払った保険料の全額が運用されます。

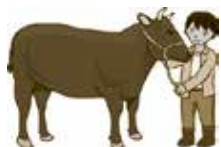
詳しくは… <https://www.nounen.go.jp>

またはお近くのJA窓口までお気軽にお問合せ下さい。



開催日
5/13～5/14
市場成績

品種	性別	区分	市場全体		きたそらち農協	
			本年5月実績	前年同月実績	本年5月実績	前年同月実績
和牛	去勢	出場頭数	1,015	1,073	34	44
		平均価格	865,950	744,381	823,576	691,000
	めす	出場頭数	656	732	24	39
		平均価格	761,837	628,118	705,950	615,016
交雑	去勢	出場頭数	70	87	0	7
		平均価格	448,171	354,946	0	332,200
	めす	出場頭数	255	352	108	125
		平均価格	394,197	348,919	373,185	367,171



【平均価格は円・税込価格】

青年部深川支部・雨竜支部のインスタはこちら！



JA.YOUTH_FUKAGAWA



URYU_SEINENB



青年部での活動、日々の農作業の様子などを青年部員が投稿しています♪
ぜひ、フォローしてチェックしてみてください！

六月俳句

● 雨竜俳句会

畑打てば去年の小薯顔を出し
露の葉を丸めてすくう清水かな
ハウス前風で飛び舞う桜かな
枕元カーネーションは折り紙で
離農跡夏水仙が満開に

北川 満江
佐々木待子
松木 五月
宮武めぐみ
吉見サヨ子

● 「道」俳句会 北竜支部

嫌われし杉菜葉になろうとは
蛙鳴く合唱団の募集あり
石楠花とひょうたん池と友の家
雨降りて子子遊ぶ桶の水
夕景に映える紫陽花咲き誇る
母案じ思い乱るる春の宵
早苗植ういと軽やかに機械音

山本 玲子
山岸 正俊
吉尾 広子
山下 好晴
佐藤美智子
南 秀幸
阿部れい子

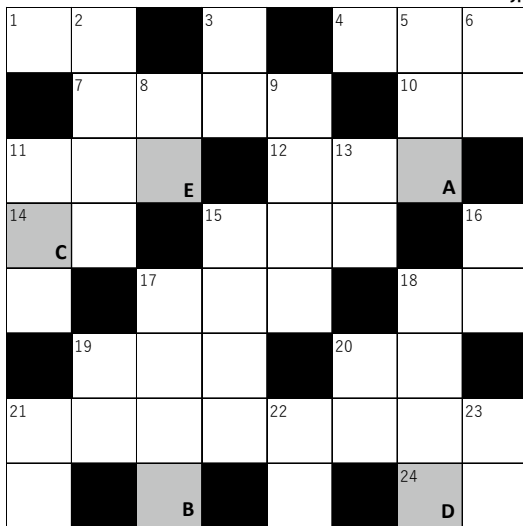
● 土筆俳句会

炎天下犬も威嚇の歯を見せて
サングラス掛けて度胸の据はりたる
積みし本選ぶ数分夏至の雨
歓声の過ぎし早苗田風孕む
夏旅や子のもてなしは神戸牛
運動会本番近しピストル音
さくらんぼサンバ聞こえる道の駅
星光る家の回りの代田かな
夫置いた石に凭れん風小満

高尾美津子
池田 美知
南川富美子
佐藤英三子
滝口富美子
菅原 優子
森田裕美子
沼田留美子
小橋 厚子

クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



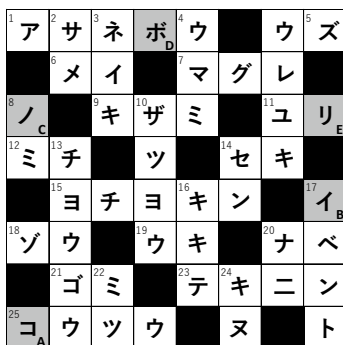
A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

【タテのカギ】

- 2 歯をみがいてきれいにすること。
- 3 アフリカの川や湖にすむ、草食の動物。口が大きく胸が太い。
- 5 山野に住む、犬の仲間のけもの。口・耳がとがり、尾が太く長い。
- 6 ある物・人・事がらが、しめている場所。地点。
- 8 物のなめらかな表面から出てくる光。
- 9 料理をすること。
- 11 話し手が自分を指す言葉。
- 13 うでの付け根と胸の間。
- 15 飲食物がのどを通過していくときの感じ。
- 16 動物の体をおおっている皮。
- 17 植物などを育てるために、空気をさえぎって中を暖かくした部屋や建物。
- 18 農作物などを人工的に早く成長させること。
- 19 便利な器具・機械。「文明の〇〇」
- 20 国の最高権力者。君主
- 21 金額などを自動的に計算して記録する機械
- 22 ほしいと思う気持ち。ほしがる心。
- 23 地球の周りを約一か月で回っている衛星。

【ヨコのカギ】

- 1 打ち破ること。
- 4 出入り口や部屋の仕切りの下にわたす、みぞのある横木。
- 7 みつを集めるはちの一種。
- 10 岩や石がこわれて、長い間に細かく変化したもの。地。
- 11 自分の家。自分の家庭。
- 12 弱々しい声。意気地のない言葉。
- 14 崖から流れ落ちる川の流れ。
- 15 税金・商品などを納める期日。また、納入の期限。
- 17 音楽や歌に合わせて体を動かして、何かを表現する。
- 18 父や母の父。おじいさん
- 19 秋ごろ、赤色の丸い実がなる果物の木。
- 20 一万の一万倍。
- 21 歴史上の事件や人物を題材とし、史実を踏まえて書かれた小説。
- 24 動物が口や鼻で吸って吐いたりする空気。



5月号の答え 「コイノボリ」

深川市 太田 輝己 様
深川市 竹内 啓 様
横浜市 藤井 淑江 様
が選ばれました。

... 応募締切 7月31日(消印有効) ...

応募方法

ハガキ・FAX・ホームページ応募フォームに、
①クイズの答え ②住所、氏名、年齢
③身近な出来事 ④農協だよりに対するご意見ご感想
を記入の上ご応募下さい。当選者は9月号に掲載します。

宛先

〒074-0015
深川市深川町字メム10号線山3線5850番地
JAきたそらち 農業振興部営農企画課
FAXの場合は 0164-22-1228
ホームページはこちらのQRコードから



※ハガキで応募は、85円分のハガキ、切手をご使用ください。
ご本人以外による応募は抽選外とさせていただきます。

正解者の中から抽選で3名様に
「農協全国商品券」をプレゼント



組合員の動き

(令和8年5月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,136	7	21	1,122
	団体	120	4	0	124
准組合員	個人	5,217	30	33	5,214
	団体	248	1	0	249
正組合員戸数		801	3	14	790



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和8年5月実績

発電電力 **59,494kWh**

計画対比 +5,333kWh
前年対比 +7,938kWh

売電金額 **2,379,760円 (40円/kWh)**

○累計 (R7.12~R8.5)

発電電力 **234,508kWh** 計画対比 +52,718kWh / 前年対比 +36,072kWh



第6回理事会〈令和8年5月28日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 内部監査報告について
3. 組合員の加入脱退について
4. 財務報告及び事業実績について
5. 固定資産の修繕およびリース資産の取得について
6. JA理事との利益相反取引実績について
7. 反社会的勢力等との取引状況について
8. マネー・ローダリング等の取引状況について
9. コンプライアンス事故報告について
10. 反社会的勢力等との取引排除にかかる定期確認結果について
11. マネロン等の防止にかかる対応状況（令和8年3月末基準）について
12. 職員の人事及び業務事故について

13. 貸出金の貸付報告について
14. 令和8年産米「生産の目安」の取組状況について
15. 令和8年度 補助事業の採択結果について
16. 令和7年度 新規就農者受入対策助成金の支払い実績について
17. 令和8年度 主要農作物の生育状況（5月15日）について
18. 令和8年度 水稻病虫害防除推進方針について
19. 令和7年産 規格外小麦最終精算について
20. 令和8年産 畜産販売実績（4月末）について
21. 令和8年度 青果・花き集荷販売実績について
22. 令和8肥料年度 肥料価格について
23. 経済部事業実績について

議案第1号 取引実態並びにマネー・ローダリング及びテロ資金供与対策の実施状況等について

議案第2号 外部出資の処分について

議案第3号 職員の夏期手当の支給について

議案第4号 給与規程の一部改正について

議案第5号 貸出金の貸付について

議案第6号 理事者に対する貸出条件の変更承認について

議案第7号 広域小麦・大豆乾燥調製貯蔵施設増設に係る取り進めについて

議案第8号 令和8年産 米の取扱いについて

議案第9号 令和8年産 玄そばの取扱いについて

議案第10号 令和8年産 農産物予約前渡金について

議案第11号 共同計算基本要領における重要事項の決定について

議案第12号 購買手数料の改定について

議案第1号 役員執行体制の検討について

議案第2号 役員道内研修の実施について

議案第3号 令和8年度 固定資産現地確認について

議案第4号 令和8年度 JA役員による組合員訪問活動案について



みんなで楽しく植えたバケツ稲。(左：北光保育園、右：音江中央保育園)

まいにちお水を取りかえて、元気に葉っぱがのびてきた！

もっとももっと大きくなればいいなあ

6がつ11にち（もく）
バケツ稲レポート

金融共済部からのお知らせ



病気やケガで働けなくなるリスクへ備えていますか？

働けなくなるリスクって？

病気・ケガを問わず障害を負って働けなくなった場合、**収入の減少**と**支出の増加**という2つの問題が発生します。



病気やケガで働けなくなったときの収入減少例

農家（個人事業主）の場合

事業収入月額 45 万円で、
配偶者と 2 人の子ども（18 歳の 3 月末までの未婚の子）がいる場合



会社員の場合

収入月額 45 万円で、
配偶者と 2 人の子ども（18 歳の 3 月末までの未婚の子）がいる場合



J A の生活障害共済なら、病気やケガによる身体の障害が残ったときの、
収入の減少や支出の増加に備えられます。

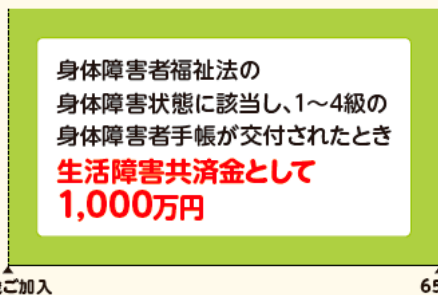
“一時金型”と“定期年金型”の2つの型があります。



①一時金型 ～一時的な支出に備える～

【ご契約例】
加入年齢 30 歳/男性/払込終了年齢 65 歳/共済期間 65 歳満了/
共済金額 1,000 万円/年払/口座振替扱い 令和 8 年 4 月現在

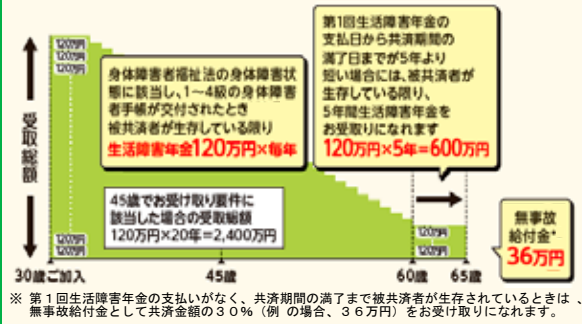
年払共済掛金 **32,868円**



②定期年金型 ～収入の減少や支出の増加に備える～

【ご契約例】
加入年齢 30 歳/男性/払込終了年齢 65 歳/共済期間 65 歳満了/
共済金額 120 万円/年払/口座振替扱い 令和 8 年 4 月現在

年払共済掛金 **56,843円**



※ 責任開始時以後に生じた病気またはケガによる場合に限りです。
※ この共済には、死亡時における保障はありません。また、生活障害共済金をお支払いした場合にはご契約は消滅します。

お問い合わせは



伊予本所 Tel 0164-22-6619 多度志支所 Tel 0164-27-2111
音江支所 Tel 0164-25-1111 雨竜支所 Tel 0125-77-2331
深川支所 Tel 0164-22-2171 北竜支所 Tel 0164-34-2280
納内支所 Tel 0164-24-2211 幌加内支所 Tel 0165-35-2025

記載のお取扱いについては、令和 8 年 1 月末現在の法令等にもとづくものです。当資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。 **【26019990082】**